


JAバンク岡山における 地域密着型金融の取組状況 (平成21年度)

平成22年10月
農林中央金庫岡山支店



JAバンク岡山(JA・農林中央金庫岡山支店)では、農業と地域社会に貢献するため、平成19～21年度JAバンク岡山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成21年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



目次

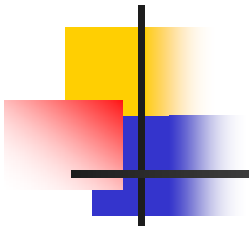
農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援
(JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み)

… P. 4

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 10

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い
手に適した資金供給手法の提供 … P. 13

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁
村等地域育成への貢献 … P. 16



**農山漁村等地域の活性化のための融資
を始めとする支援
(JAバンクの農業メインバンク機能強化
への取組み)**



農業融資の円滑な取組み

- JAバンク岡山は、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いや、各種プロパー農業資金の提供を通じ、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成22年3月末時点のJAバンク岡山における農業関係資金残高(注1)は284億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金(注2)残高は184億円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

農業融資残高(営農類型別)

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

営農類型	平成22年3月末
農業	28,437
穀作	9,271
野菜・園芸	1,301
果樹・樹園野菜	1,014
工芸作物	38
養豚・肉牛・酪農	1,436
養鶏・鶏卵	31
養蚕	0
その他農業	14,848
農業関連団体等	499
合計	28,437

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれます。

農業融資残高(資金種類別)

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成22年3月末
プロパー農業資金	9,055
農業制度資金	19,381
農業近代化資金	1,171
その他制度資金	18,210
合 計	28,437

(注)

1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成22年3月末
日本政策金融公庫資金	18,399
その他	0
合 計	18,399

(注)

JAバンク岡山では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。



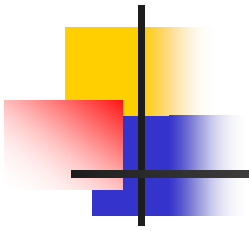
担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク岡山では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、農業融資に関する相談対応を実施しています。また、県内全てのJAに合計52人の「担い手金融リーダー」を設置し、本支店の活動をサポートしています。
- 農林中金岡山支店では、「県域農業金融センター機能」として、農業法人等への融資相談機能のほか、JAの農業融資機能強化に向けた取組みを様々なかたちでサポートしています。



農業法人とのコミュニケーション強化の取組み

- 農林中金岡山支店は、JAバンク岡山を代表し、岡山県農業経営者協会への加盟を契機に、地域農業の有力な担い手である農業法人等の経営者の皆様と活発に交流を深めています。
- 農業法人等の経営者の皆さまからは、資金のご相談に限らず、JAバンク岡山が今後果たしていくべき役割等についても貴重なご意見をいただき、JAバンク岡山の業務運営に活かしています。



担い手の経営のライフサイクルに応じた 支援

新規就農者の支援

- JAバンク岡山では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成21年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件・百万円

	実行件数	実行金額	平成22年3月末残高
就農支援資金	11	60	281

- 平成22年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成することとしています。

経営不振農業者の経営改善支援

JAバンク岡山では、経営改善が必要な農業者に対し、農家負担軽減支援特別資金をはじめとする負債整理資金の対応や、関係機関と連携した経営再建にかかる会議等の開催を通じ、経営改善・再生にかかる支援を行っています。

【平成21年度の農業者の経営改善支援取組実績】

	経営改善 支援取組先	のうち再生 計画策定先	のうちラン クアップ先	のうち債務 者区分不変 先	事業計画 策定率 /	ランクアップ 率 /
正常先	27	0	0	24	0.0%	0.0%
要注意先	2	0	2	0	0.0%	100.0%
破綻懸念先	4	2	0	4	50.0%	0.0%
実質破綻先	12	3	0	12	25.0%	0.0%
破綻先	0	0	0	0	0.0%	0.0%
合計	45	5	2	40	11.1%	4.4%

(注1) ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。



経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

負債整理資金による経営支援

- JAバンク岡山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成21年度 負債整理資金貸出実績】 単位 百万円

	平成22年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	104
畜特資金	109
その他	3
合計	216

・農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

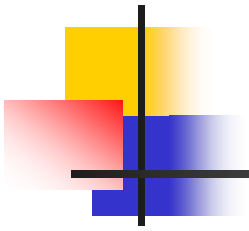
・その他は、都道府県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金(要綱資金、独自資金)による借換え資金などが該当します。

農業融資への利子助成の実施

- JAバンク岡山における，農業者に対するJA農機ハウスローン，スーパーS資金等の融資について，農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金から最大1%の利子助成を行い，農業担い手をサポートしました。

【平成21年度 岡山県における利子助成実績】 単位 件・千円

	平成21年度	前年度比
件数	39	+ 12
助成額	1,383	+ 228



農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献



飼料等高騰への緊急支援

- JAバンク岡山では、飼料価格高騰等に対応するため、個別融資先の経営状況に応じて、制度資金の実行や償還条件の緩和等に取り組みました。

【平成21年度 飼料価格高騰等支援にかかる制度資金の実績】 単位 件・千円

	実行件数	実行金額	平成22年3月末残高
家畜飼料特別支援資金	1	8,834	227,267



JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク岡山では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、農業に関する教材の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて平成21年度には県下の小学校420校へ、21,280セットが配布され、学校の授業等において活用されています。
- 県内各地のJAでは、食農教育などの実践活動が取組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。平成21年度に岡山県では、34件の取組みに対して、6,661千円の助成が行われました。